

2023年度定時総会を開催

当連合会は6月7日（水）広島市において、2023年度定時総会を開催しました。

冒頭の清水会長挨拶に続いて、「2022年度事業報告」「2023年度事業計画および収支予算」「2022年度決算」「理事・監事の選任」について報告、審議し、原案どおり承認されました。

[【事業計画についてはこちら】](#)

[【新役員体制はこちら】](#)



■ 清水会長冒頭挨拶



本日は、皆様方には大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、当連合会の事業活動に対し日頃から多大なご支援とご協力をいただいております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、先月、G7広島サミットが開催されました。今回は、岸田首相のリーダーシップのもと、現下の国際情勢を踏まえた国際秩序の維持、新興諸国との連携、気候変動問題など幅広いテーマについて議論が行われるとともに、ウクライナのゼレンスキー大統領が電撃的に来日され、大きなインパクトを残したサミットであったと感じております。

私も、G7サミットに招待されたベトナムのビジネスラウンドテーブルに参加する機会を得ましたが、経済のグローバル化の中で、アジア諸国の成長を取り込みながら、地域経済を発展させることの重要性を改めて認識した次第です。

政府は、今後の経済成長に向けた重点方針として「国内投資の拡大」を進めています。当地域でも、先般、東広島にあるマイクロテクノロジーによる5,000億円の大規模投資が発表されたところですが、引き続き、官民連携を図りながら、地域経済の推進力となる民間投資拡大を図る必要があると思っております。

今後は、「少子化対策」「人への投資」などの取り組みが加速される見通しですが、これらは、我が国の長年の社会課題であり、これら課題の解決をなくしては、地方創生の実現はないと考えております。

当連合会としても、そのような認識の下で、今年の活動を展開してまいりたいと考えております。具体的な事業計画は、後ほど説明させていただきますが、私からは、取り組みの方向性について、3点ほど述べさせていただきます。

1点目は、DX・GXの推進です。

中国地域の強みであるものづくり産業の競争力強化のためには、デジタル技術の幅広い活用によりイノベーションを加速する必要があります。

DXの促進については、高度デジタル人材の育成、先進企業のノウハウの活用に向けたマッチング機会の創出に取り組んでまいります。

更には、4月に設立された経産省主導の「J-Startup WEST」等と連携し、全国レベルのスタートアップの育成を支援してまいります。

GXについては、中国地域カーボンニュートラル推進協議会を中心に、再生可能エネルギーの導入拡大、次世代エネルギーや脱炭素技術の開発促進に向けた啓発活動などに取り組んでまいります。

2点目は、人口減少・高齢社会における魅力ある地域づくりです。

中山間地域や島しょ部の活性化のためにも、ICTを活用した暮らしの利便性向上など「地域課題の解決」と一次産業のスマート化や地元特産品の販売促進等による「稼ぐ力」の強化を2つの軸として取り組んでまいります。

3点目は人材の育成・確保です。

地域を支えていくのは人です。若者、女性、外国人など多様な人材が活躍できる環境づくりに向け、働き方改革の促進、活躍の場の創出、外国人の労働実態の調査などに取り組んでまいります。

以上お話した3つのテーマを中心に、「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の実現を目指して、成果を積み上げ、皆様のご期待にお応えしていく所存でございます。

引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本日、特別講演会の講師として、テレビでもご活躍中で、広島市にゆかりのある国際ジャーナリスト、モーリー ロバートソンさんをお迎えしております。G7広島サミット後のこれからの日本の進むべき方向性など、貴重なお話も伺えると思いますので、是非こちらもお聴講いただきますようお願い申しあげ、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。